

新成人の門出を祝う城里町成人式が開催され、新成人222人が参加しました。今年度の新成人は平成2年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた285人。会場では華やかな晴れ着を身にまとい、級友との再会を喜び姿がみられました。

新成人で構成する実行委員会が企画・運営した式典には、町関係者や中学時代の恩師などが駆けつけ、次代を担う若人の門出を祝福。新成人を代表して大井百合香さん(阿波山)が「今日まで温かく見守り、時には厳しく接してくれた両親をはじめ、地域の方々、友人たちに心から感謝し、どんな時も物事に正面から向き合い、多くの人と助け合いながら一歩一歩しっかり歩いていきたい。」と、力強く決意を述べました。

常北地区

誓いの言葉
大井百合香さん

桂地区



七会地区



はたちのひとこと

- これからは、自分たちで作っていく社会。これを機に自分の行動には責任を持ち良識ある大人になる。
- 自分の意志で人生を歩める、芯の強い女性になります！！
- 自分の希望や夢、実現のために充実した日々を送りたいと思います。
- 本日成人を迎えることができました。今日会った友人たちと10年、20年たっても仲良くやっていきたいです。
- 親への感謝を忘れずに、自分に厳しくいくぞ！大人の階段一歩ずつ進んでいきます。
- 努力の天才になる！！
- やらなきゃならないことは、全部やる！やりたいことも、全部やる！！
- 今まで支えてくれた人たちに、恩返しができるように頑張りたいです。

猿田 裕泉 さん(石塚)
 聖徳大学児童学部児童学科2年
 常北中学校出身

城里町のハタチ

を紹介します!!



平成生まれの現代の“ハタチ”は、どんなことを考え日々過ごしているのでしょうか。成人を迎え節目となるこの年に、今までの20年と将来の自分について思うことは？城里で育った若者たちの今を取材しました。

自身が通っていた幼稚園の先生にあこがれ、現在幼稚園教諭を目指し大学で勉強中の猿田さん。現場での実習はとまどうこともあるそうですが、子どもの笑顔を見ると癒されてしまうとか。

誰に対しても同じように接することができる自分の長所をいかして、将来は誰からも好かれる先生になりたいと話していました。



ななかい保育所での子どもたちとのふれあい。もうすっかり先生のように？

20年のあいだに、たくさんの出会いと別れがありました。私にとって一番大きな出来事は水戸市内の小学校から石塚小学校への「転校」です。最初は毎日嫌で泣いていました。でも、城里町で出会った新しい友達のおかげで、楽しい学生生活が送れ、今でもとてもいい友人関係を続けています。今は、「転校」によって出会えた人たちに、感謝の気持ちでいっぱいです。



昨年、兄に子どもが生まれ、「叔父さん」になりました。生まれたばかりの子どもを見て、自分もこんなに小さかったのかと驚き、命の尊さを知り、改めて両親への感謝の気持ちを覚えました。

現在僕は大学で福祉を専攻しています。大学で学んだことをいかして将来は子どもに携わる仕事をしたいと思っています。

小林 裕哉 さん(徳蔵)
 つくば国際大学産業社会学部
 社会福祉学科2年
 七会中学校出身



ムードメーカーの小林くん。授業中、グループでの話し合いも、リーダーになってみんなをまとめていました。

小林くんは現在大学2年生。土浦市内の大学まで車で通学し、授業のあとはバイトと、充実した毎日を送っています。社会福祉士の資格を取得し、将来は福祉の現場で働きたいと考えているそうです。

明るい性格で家族や友達のなかでも常に盛り上げ役の小林くん。人を相手とする福祉の仕事にはぴったりの人柄で、社会人になっても大活躍してくれることでしょう。

平成23年度城里町奨学生を募集します

町では、経済的な理由により高等学校や大学等における修学が困難な方に学資を無利子で貸与しています。

出願資格 次の①～⑤の要件をすべて満たす方

- ① 町内に1年以上居住し引き続き事実上生活の本拠を有する
- ② 健康状態が良好で修学に十分耐えうると認められる
- ③ 人物・学業とも優良である
- ④ 学資の支弁が困難である
- ⑤ 国や他の団体から奨学資金の貸与を受けていない

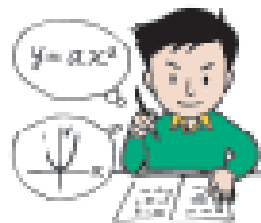
採用予定人数 3人

貸与月額 高校生・高等専門学生／3万円以内 大学生／5万円以内

貸与期間 平成23年4月から在学する学校の正規の修業期間

奨学資金の返還 貸与終了月の6か月後から10年以内に返還

申込期限 3月31日(木)



※手続き等詳細は下記までお問い合わせください。

問合せ 教育委員会事務局

☎029-288-7010